



伝統の歌が響き渡る♪ 第14回糸満ハーレー歌大会

第14回糸満ハーレー歌大会が6月2日(日)、シャボン玉石けん くくる糸満で行われ、市内の小学生や保育園児による創作歌唱や市民による伝統歌唱が披露されました。大会当日は大勢の保護者らが見守る中、小学生や保育園児は笑顔で糸満ハーレー歌の合唱を披露しました。また、日頃の練習の成果を舞台上で発揮する出場者、声楽家などによるゲスト演奏を静かに聞き入る様子が見られました。



海人の航海安全・無事故大漁を願う ハーレー鉦が鳴り響く!

6月3日(月)、山嶺毛で旧暦5月4日の糸満ハーレー到来を告げる鉦打ちが行われました。鉦打ちを終えた東恩納博委員長は「旧暦の5月4日に近づき、気持ちが高まっています。海の恵みに感謝し、海人の航海安全と無事故大漁、糸満市のさらなる繁栄を祈願して鉦を打ちました。ハーレー鉦が鳴ると梅雨が明けると言われているので、当日は晴れることを願っています」と話しました。



消防職員として地域防災を考える 沖縄県消防学校初任科学生視察研修

6月5日(水)、沖縄県消防学校初任科学生の自主防災会視察研修が西崎ニュータウン自治会自主防災会のもと西崎ニュータウン集会所で行われました。当日は、自主防災組織の講演、カレーの炊き出し訓練などが行われました。糸満市消防職員として消防学校へ通う進孝介さんは「地域の防災活動の大切さを知ることができて良い経験になりました」と研修の感想を語りました。



一日も早い復興の手助けを 能登半島地震に係る災害対応職員派遣

令和6年度能登半島地震で被災した石川県七尾市を支援するため、糸満市職員1人が現地へ派遣されるにあたり、6月5日(水)糸満市役所で激励式を行いました。派遣される秘書防災課防災係の大城啓太さんは「先発隊の職員で体調を崩された人もいますと聞いていますので、体調に気をつけながら、糸満市の代表として支援活動を頑張ります」と活動への意気込みを語りました。



6月9日(日)、喜屋武漁港で喜屋武ハーリーが盛大に開催され、大勢の観客でにぎわいました。最初に行われた御願ハーリーを中支部が制し、続く勝負ハーリーでは南支部に勝利を譲るものの、その後、喜屋武ハーリー特有の競技である2人乗りハーリー、アガイハーリーも中支部が勝利し、3種目を制した中支部が、見事、昨年に引き続き総合優勝に輝きました。

喜屋武